

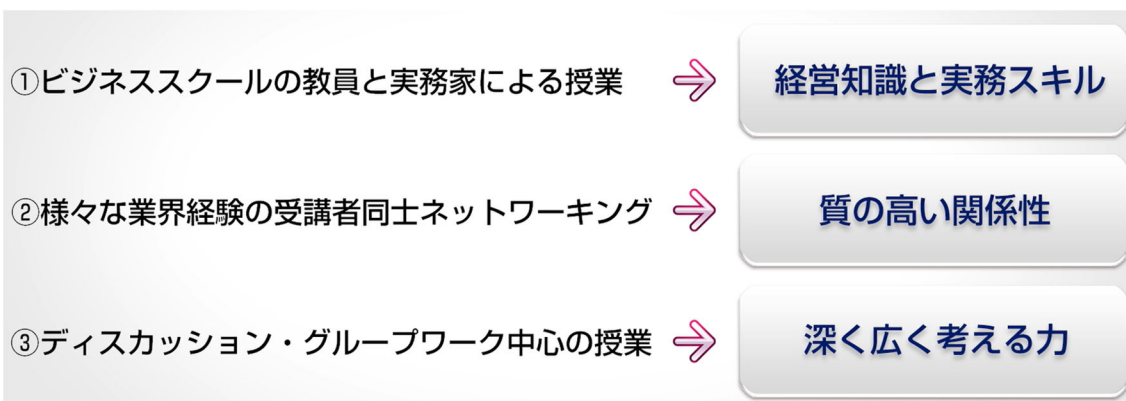
## 「質の高い双方向オンライン授業」への挑戦

ハッピーキャリアプログラム主宰 大内章子

充実した学習のためのハッピーキャリアプログラムがこだわっている「対面と同等、および、オンラインならではの、それ以上の質の高い双方向オンライン授業」への取り組みをご紹介します。

### 1. プログラムの特徴とコロナ禍における二つの課題

HP の[紹介動画](#)でもご紹介しているように、本プログラムの特徴は3つ、すなわち「最新の経営知識と実務スキル」「質の高い関係性」「深く広く考える力」を得られることで、開講以来の12年間で培いました。



しかし、2020年のコロナ禍でキャンパスが閉鎖され対面授業が許されなくなった中、「どのように授業の質を保証するのか？」という課題に直面しました。

コロナ禍では、二つの課題がありました。一つ目の課題「プログラムを開講するのか？」に対して、私どもは「開講しない」という選択肢をとらず、「大人の学び=リカレント教育を止めない」を合言葉に、前年度に開講した「大学連携オンラインコース」で培ったオンライン授業のノウハウを応用し実現することを考え、6月開講のリーダーコース、10月開講のキャリアアップ・起業コース共に迷わず開講を決定しました。

二つ目の課題は、単にオンライン授業をすることではなく、「対面と同等か、それ以上の質の授業をする」ことです。そのために、より使いやすいシステムの構築とオンラインにあった授業構成について、講師陣との研究を踏まえ、先の①「最新の経営知識と実務スキル」②「質の高い関係性」③「深く広く考える力」の3つの質保証をするための授業のあり方を検討しました。

## 2. 「対面と同等か、それ以上の質の高い双方向オンライン授業」への挑戦

①「経営知識と実務スキル」については、講師会での研究によって、担当講師が専門分野をオンライン授業でより効果的に伝えられる工夫をしました。②「質の高い関係性」と③「深く広く考える力」については、②受講者同士のネットワーキングをどう築くか、③ディスカッション・グループワークを、どうリアルにできるか、の質保証に試行錯誤しました。

まず、②質の高い関係性については、2020年度の授業が始まった頃、授業を熱心に受け、ディスカッションして仲間ができていだろうと思っていた受講生がディスカッションだけの付き合いに終わり、実は寂しい思いをしていたことがわかりました。そこで、ネットワークが作れるような様々な受講促進、フォローアップの仕組みを導入しました。修了生の協力を得て、ハッピーキャリアプログラムの3コース合同セミナーを開催したり、各コースの談話会やセミナーを開催したりしたことはその一例です。

③ディスカッション・グループワークはZoomのブレイクアウトセッション機能を積極的に使い、単なるディスカッションではなく、様々なツールを使って対面同様の効果をもたらせるように工夫しました。グループワークでも意見を出し合える環境を整え、グループでの発表も積極的にしていただきました。また、少ない回数でしたが、教室での対面授業も行いました。その際は、事情で教室参加ができない受講生や東北や関東の受講生がオンラインで参加できるように、ハイブリッド授業にしました。こちらは、前年の「大学連携オンラインコース」が応用でき、役立ちました。

## 3. 受講者によるオンライン授業への評価

こうした取り組みの結果、2020年度受講者から次のような感想が得られています。

「オンラインでなければ受講できなかった」

「地域を限定せずに学習できることはオンラインのメリット」

「関東や東北の方とはオンラインだからこそ出会えました」

「本当に、とても細やかな心遣いを感じております。私が大学生時代に通学して授業を受けていたときより、むしろ、大学との距離感が近いとすら感じております。」

「先生方とも、同期のみなさんとも一度もお会いしたことないのに、こんなに絆が深まるとは！というのがうれしい驚きでした。」

12～1月の正課授業「人的資源とキャリア開発」に体験で参加された一般の受講者からは次のようなご感想をいただいています。

「対面と同様レベルの学びができたと思います。」

「グループディスカッションなどはオンラインでは難しいのではないかと考えていまし

たが、スムーズに進行していただいたおかげで問題なく参加することができました。思っていた以上にオンライン受講も良かったので、これ以上はありません。」

同じく体験で参加された他大学のリカレント受講生からは次のご感想をいただいています。

「議論をしながら学ぶ経験は初めてで今回のような充実した内容は、毎回ワクワクしていました。」

「みなさん講義への参加意欲も高く、積極的に発言される姿をみてとても刺激を受けました。」

「東京在住ですが、関学の講義を受けることができたのもオンラインのおかげ。」

このように、コロナ禍での授業の質保証をすること、つまり「対面と同等か、それ以上の質の授業」という2020年度の最大の課題に対する取り組みに対して、ハッピーキャリアプログラムの正規受講者、体験受講者から高い評価をいただいたものと考えております。

実際にどうなのかは、HP「[授業風景から](#)」で、「会計・財務諸表」担当の谷村講師と、ほとんど対面授業が許されない中で完全オンライン授業を受講してきた7期生が、オンライン授業の様子を語っているので、ぜひご覧ください。

#### 4. 2021年度に向けての挑戦

2021年度授業のうち必修科目は、対面授業を行う場合でも、リアルタイムでのオンライン受講ができる体制を整えています(ハイブリッド授業)。正直なところ、対面とオンラインの同時開講のハイブリッド授業は、充実した学習環境を作るためには難易度が高いものです。しかし、大学連携オンラインコースや前年度のコロナ禍での授業において蓄積してきたノウハウを活かし、2021年度はさらなる改善を施していく予定です。受講者の皆さんにご協力をいただきながら、より一層充実するハイブリッド授業を作り上げていきたいと思っております。「高まる学びの質」「広がる学びの幅」「選べる学びの形」の3つの特徴を持ったリアルタイムの双方向性の高い授業に、ハッピーキャリアプログラムは2021年度も挑戦していきます。

コロナ禍により、職場でもリモートワークが行われ、DX(デジタルトランスフォーメーション)が進められている動きは止まらないと思われまます。100%対面授業が実現するまで待たなくても、双方向性の高いオンライン授業は「学びたい」今のあなたの気持ちに応えるができます。

ぜひ一緒に学びましょう！

以上